

12月定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

市政を問う



委員会の活動報告



行政視察報告

産業厚生委員会

津市のつじ農園「地元との農園経営とスマート農業」について

農業のスマート化については、水田にドローンを飛ばし、カメラ撮影した画像に特定波長のフィルターをかけ稲作の生育診断を行い、施肥設計をされています。元肥と追肥の最適な箇所と量によりコスト削減、得た情報は記録し、栽培技術の継承に活用。

農業の法人化に向けた取り組みには経営感覚を持った地域の核となるリーダーの育成が重要で、多久市においても、農業の法人化やスマート農業の推進のために農家、農協行政が連携して取り組んでいく必要があると感じました。

玉城町「オンデマンド方式による元気バス」について

町民が会員登録すれば利用料は無料、バス停は201箇所指定され



ており、最寄りのバス停から目的地のバス停まで利用することが可能です。

予約は当日30分前から2週間先まで、電話やインターネット、公共施設に設置された端末からできる。

東大大学院との実証実験で実施され、現在、運営は社会福祉協議会に委託。

利用者・非利用者の比較分析では医療費が、年間1人当たり平均約2万円円の差が出ている。

熊野市「乗合タクシー」について

人口が1万6746人、高齢化率が43.13%、総合病院、スーパー大型店は市外に立地し、交通手段がないと日常生活が成り立たない状況です。

市内を4地区に分けて区域内で運行され、運行ダイヤは1日7便（土日祝日は運休）料金は1乗車300円で、利用方法は40分前までに専用ダイヤルへ電話予約すると自宅、公共施設、店舗、病院などの決められた目的地域の移動ができる仕組みです。



乗合タクシー運行委託料は運行経費から運賃収入と国庫補助金を差し引いた額で、4地区合計2570万円。

多久市で利用対象者を65歳以上の方、要支援以上の方、障害者、免許返納者など福祉目的に絞った運用での導入ができないか。また、自宅と目的地域の移動ができる運用を今後も検討します。

國信好永



新公立病院について

候補地及び負担割り合い決定までの経緯は。

答弁 多久市が全額負担しても市内に整備したいとの意向も勘案いただき、東多久町羽佐間を適地とされ、小城市との協議によって建設費を9:1の負担割合にすることが決定しました。

候補地の状況に対する認識と整備方法は。

答弁 多久市防災ハザードマップ上の浸水区域ということは候補地とする際に把握をしています。想定される状況においても耐え得るよう適切に施工を行いたいと考えていますが、詳細については基本構想、基本計画等の中で対応すべき部分が見明らかになってきますので盛り土の高さや工法についてはこれからとなります。

東多久駅前交差点は交通量も多く事故も起こっていますが、改良の計画は考えていますか。

答弁 東多久駅から羽佐間の交差点に向けた、県道多久江北線は地権者との話がかさず県としては一回完了となっています。

以前に、宝蔵寺の交差点から羽佐間の大出橋までの新設道路の提案をしましたが計画はないか。

優良農地であり途中に河川や高圧鉄塔がある事を考慮しますと費用対効果から市単独では難しく、国道203号線と県道を結ぶ地域間交通として広域的な幹線道路として関係機関と十分協議、検討する必要があると考えます。



その他の質問

ふるさと納税について